

一般会計

歳入は、前年度に北部工業団地用地売却収入があったため大幅に減少しました。町税は個人所得が低迷し、企業収益の悪化により町民税は落ち込みましたが固定資産税や町たばこ税が伸びたことにより、前年度より3,358万円(前年対比1.2%)の増となりました。また、県支出金は介護基金盤緊急整備等臨時特別基金事業費補助金などにより2億9,663万円の増、借金に当たる町債発行は道の駅整備事業債の皆減と地方交付税の代替の借金である臨時財政対策債の発行を抑制したため2億2,527万円(同31.2%)の減となっております。

歳出は、北部工業団地用地購入費の皆減により前年度と比較して1.1%の減となりました。

主な事業としては、道の駅整備事業、農業農村整備事業、総合体育館増築事業、八幡小学校校舎改築実施設計委託料、各小学校維持補修工事請負費、国体実行委員会補助金、子ども手当、緊急雇用創出事業などを行いました。

特別会計

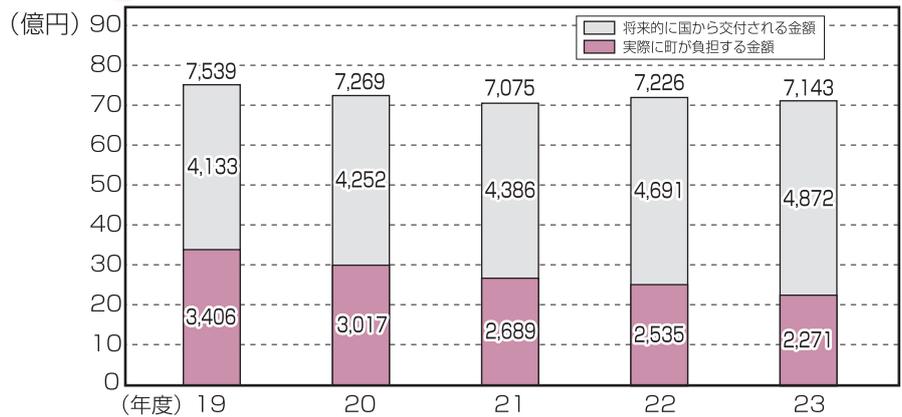
国民健康保険特別会計は医療費の増加により決算額が増えました。老人保健特別会計が、後期高齢者医療事業特別会計へ移行したことにより、後期高齢医療事業特別会計は増加しました。公共下水道事業特別会計は、池野・六之井・青柳・田畑地内の管渠布設工事を行い、簡易水道事業、農業集落排水事業特別会計は施設管理費が主なものです。また、温泉施設特別会計は歳入歳出差引額が346万円の赤字となりました。

特別会計とは

特定の事業を行う場合、特定の歳入をもって特定の歳出に充て、一般会計とは区別して経理する必要がある場合に設置するもので、池田町には7つの特別会計があります。

町債元利未償還額の推移(一般会計)

(単位：百万円)



町債とは

施設を建設するなど一時的に多額の資金を要する事業を行う場合に町が借り入れ、後年返済していく長期間の借金のことです。

将来、施設を利用する人も負担することになり、受益者間の公平を計るという効果があります。

なお、町債の中には返済額に対して国から地方交付税が交付される借金(臨時財政対策債、減税補てん債など)もあります。

町債元利未償還額の内訳

区分	未償還額(万円)	起債目的
一般会計	総務債 41億 81	庁舎建設、臨時財政対策債、減税補てん債等
	民生債 3億 136	温知保育園建設、障害児治療訓練教室建設、八幡児童館・児童クラブ室建設
	建設債 17億 7,415	町道整備、池田山林道改良、町営住宅、臨時地方道整備事業、池田南部公園整備事業等
	義務教育債 7億 9,318	温知小学校校舎改築事業、温知小学校プール建設等
	社会教育債 1,347	屋外運動場照明設備設置事業
	消防債 1億 4,426	防火水槽、小型動力ポンプ積載車、消防ポンプ自動車、防災行政無線設備整備事業等
	災害復旧債 1,590	河川等補助災害復旧事業、林道施設補助災害復旧事業
計	71億 4,313	
特別会計	北部簡易水道事業 1億 3,007	北部簡易水道事業
	南部簡易水道事業 2億 869	南部簡易水道事業
	農業集落排水事業 30億 9,258	中谷地区・徳谷地区・大谷地区・大津谷地区・白鳥地区・深歩谷地区・東光寺谷地区農業集落排水事業
	公共下水道事業 45億 3,790	公共下水道事業
計	79億 6,924	
水道事業会計	13億 2,742	上水道事業
合計	164億 3,979	うち、将来的に国から交付される金額：86億 9,028万円 実際に町が負担する金額：77億 4,951万円

平成23年度交際費の内訳

区分	町長		町議会議長		教育委員会委員長		農業委員会委員長	
	件数	金額(円)	件数	金額(円)	件数	金額(円)	件数	金額(円)
会費	17	191,000	1	2,000	0	0	0	0
供花・供物	3	10,260	4	67,800	0	0	0	0
香典	18	245,000	12	65,000	0	0	1	5,000
お見舞い	2	10,000	0	0	0	0	0	0
祝儀	23	258,686	4	56,080	0	0	0	0
謝礼	1	50,000	3	6,840	0	0	0	0
各大会賞品	1	100,000	5	28,330	0	0	0	0
協賛金	1	10,000	0	0	0	0	0	0
その他(会議費・消耗品費等)	17	187,964	2	19,400	0	0	0	0
合計	83	1,062,910	31	245,450	0	0	1	5,000